

道スポ協ニュース

vol. 165

Hokkaido Sport Association News

令和元年9月発行

令和元年度 定時評議員会

令和元年6月18日(火)ホテルライフオート札幌において、令和元年度定時評議員会が開催され、報告事項として平成30年度事業報告、評議員選定委員会において選定された評議員の報告、そして協議事項として平成30年度会計決算、役員を選任について諮られ、それぞれ承認・選任されました。

また、定時評議員会後に開催された第2回理事会においては、会長・副会長・専務理事の選定及び業務執行理事の選定並びに業務分担等の役員人事や、各常置委員会等の委員及び委員長を選任等の重要案件を審議し、決定いたしました。また、長年にわたり本会役員としてご活躍いただいた霜觸寛氏、石橋弘次氏の両元副会長が顧問に、八木真理氏が参与に推挙され、それぞれ承認されました。なお、評議員及び役員については下記の通りです。



定時評議員会

● 理事の選任について

自:令和元年度定時評議員会終結時 至:令和3年度定時評議員会終結時

氏名	選出母体	備考	氏名	選出母体	備考
堀 達也	学識経験者	再任	川村 恒宏	水 泳	再任
荒川 裕生	学識経験者	新任	鷲津 裕美	サッカー	新任
生島 典明	学識経験者	新任	田尻 稲雄	ラグビー	新任
森野 和泰	学識経験者	再任	増田 芳一	トライアスロン	再任
宇佐美暢子	学識経験者	再任	柳原 正明	卓 球	再任
坂本 和彦	学識経験者	再任	北村 優明	バドミントン	再任
石井潤一郎	北広島市体協	新任	小西 秀人	弓 道	再任
二本柳康仁	新ひだか町スポ協	新任	岡部 弘子	ダンススポーツ	再任
伊端 隆康	留萌体協	再任	平野 雅嗣	学校体育団体	新任
多田 吾郎	網走市スポ協	新任	青木 喜満	学識経験者	再任
佐藤 勝美	札幌市体協	再任	吉田 聡美	学識経験者	再任
松岡 尚幸	スキー	再任	高間 亨	学識経験者	再任
宮越 武志	カーリング	新任			

● 監事

自:平成29年度定時評議員会終結時 至:令和3年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
太田 三夫	学識経験者
大野 憲義	学識経験者
渋谷 研一	学識経験者

● 会長・副会長・専務理事の選定及び業務分担について

自:令和元年度定時評議員会終結時 至:令和3年度定時評議員会終結時

役職	氏名	理事区分	分担業務
会 長	堀 達也	代表理事	
副 会 長	荒川 裕生	代表理事	総 務 全 般
副 会 長	生島 典明	業務執行理事	生 涯 ス ポ ー ツ
副 会 長	森野 和泰	業務執行理事	競 技 ス ポ ー ツ
副 会 長	宇佐美暢子	業務執行理事	ス ポ ー ツ 少 年 団
専 務 理 事	坂本 和彦	業務執行理事	日常会務・事務局運営・指定管理業務

● 評議員の選任について

自:平成29年度定時評議員会終結時

至:令和3年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
高野 俊和	後志管内体連協
堀川 昭彦	渡島管内体連協
八木橋政則	胆振管内体連協
高瀬 善朗	上川管内体連協
秋野 優	宗谷管内体連協
阿部 一洋	十勝体育団体
松岡 憲二	根室管内体連協
勝木 紀昭	スキ ー
高木 孝	リュージュ
東 乙比古	ボ ー ト
瀬尾 広志	陸 上 競 技
近藤 真章	テ ニ ス
三井 福成	乗 馬
村木 重夫	ゴ ル フ
森多 伸明	体 操
雨尾 保典	フェンシング
渡辺 光弘	ウエイティング
釜澤 大毅	柔 道
北野 典子	なぎなた
横山 泰之	高等学校野球
澤渡 武士	綱 引
牧 泰昌	バウンドテニス
中川 幸治	学校体育団体
山本 理人	学識経験者
戸澤 孝一	学識経験者

自:令和元年度定時評議員会終結時

至:令和5年度定時評議員会終結時

氏名	選出区分
松本 博樹	石狩管内体連協
鎌田 誠	空知管内体連協
金子 剛	釧路管内スポ連協
小瀧 健二	日高管内スポ連協
長尾 保廣	留萌地方体連協
前田 敏彦	オホーツク管内スポ連協
足立 功一	釧路管内体連協
長澤 茂嗣	札幌市体育協会
梅谷 正	スケ ー ト
小野 丘	カーリング
津軽 敦志	ラグビー
鎌田 英暢	軟 式 野 球
倉知 敏博	アーチェリー
酒井 和彦	自 転 車
石井 昭彦	山 岳
豊岡 正康	トライアスロン
印藤 智一	バレーボール
北里 嘉則	卓 球
白神 治	相 撲
長谷川航三	空 手
五十嵐隆男	ゲートボール
渋谷 年通	ダンススポーツ
森 修二	学識経験者
小野塚 勝	学識経験者

● 詳細はホームページ <http://www.hokkaido-sports.or.jp> をご覧ください

第36回 北海道スポーツ協会表彰

令和元年6月18日(火)ホテルライフオーブ札幌において、第36回公益財団法人北海道スポーツ協会表彰式が挙行され、18団体・50個人を表彰しました。

団体では、第49回明治神宮野球大会で優勝した札幌大谷高等学校野球部、個人では、スピードスケートワールドカップソルトレーク大会女子1500mにおいて世界新記録での優勝を果たした高木美帆選手ほか、国際的又は全国的なスポーツ競技において特に優秀な成績を修めた団体・個人を表彰しました。

また、多年にわたりスポーツの普及振興に寄与した方、スポーツ指導者として功績のあった方々を表彰しました。

●詳細はホームページ
<http://www.hokkaido-sports.or.jp> をご覧ください



表彰式

第36回 公益財団法人 北海道スポーツ協会表彰 受賞者一覧

(敬称略)

1 多年にわたりスポーツの普及振興に寄与し、その功績の顕著な者、又は団体

(1)加盟競技団体役員

佐々木 則昭/佐藤 公一/高坂 猛/飛弾野 堅司/三上 章

(2)加盟地方団体役員

大西 章一/木内 俊次/倉島 敏/徳橋 弘/藤井 謙和/村木 一夫

2 国際的又は全国的なスポーツ競技において特に優秀な成績を挙げ、その功績の顕著な者、又は団体

(1)個人

相原 史郎/青木 賢祥/赤石 泰雅/阿良 美希/安藤 翔/石山 梨花/稲田 武史/大槻 夏鈴/角田 佳介/葛西 優奈/笠原 光太郎/工藤 ひかる/寒河江 瑞希/真野 美咲/

菅 原 広 希/鈴木 璃優/高橋 乃綾/谷 武蔵/辻 創太/時安 清貴/柄 谷 和/永原 和可那/長屋 圭悟/信田 真美/林 竜 旭/原田 美結/東野 有 紗/広田 静空/藤田 慎之介/堀川 翼/堀口 響/町井 大城/松本 麻佑/松 本 みのり/水戸 咲良/三宅 史織/柳沢 梨加/山本 泰丈

(2)団体

〈石狩緑苑台スポーツ少年団〉佐藤 瑚桜/米田 奈花/葛西 菜実/佐藤 春陽/名塩 ゆら/井上 沙耶/葛西 穂乃/武田 美咲 〈駒大苫小牧高等学校アイスホッケー部〉荒木 翔伍/吉本 祐斗/大野 智央/阿部 泰河/木綿 宏太/安藤 永吉/新垣 慶/石田 佑佑/米津 優風/渡辺 友汰/三浦 稜介/中島 照人/小金澤 祐太/橋本 寛太/今 大和/鎌田 悠希/石川 涼/務基 慎太郎/佐々中 学人/上山 響平/馬場 杏爾/大久保 雅斗 〈コンサドーレ(カールリング男子チーム)〉松村 雄太/清水 徹郎/谷田 康真/阿部 晋也/相田 晃輔 〈札幌大谷高等学校野球部〉西原 健太/飯田 柊哉/清水 悠我/釜沼 大司/青山 弥稜/小関 慎之助/中川 征典/石鳥 亮/佐野 翔騎郎/北本 壮一朗/増田 大貴/中川 諒/佐藤 颯馬/津崎 愛斗/田口 恭大/將田 勝基/太田 流星/阿部 剣友 〈全日本都道府県対抗剣道優勝大会 北海道代表チーム〉青木 一真/山田 凌平/對馬 良祐/上村 章太郎/安藤 翔/野口 尊/柴

花 直輝 〈第12回全日本少年アイスホッケー大会 釧路選抜Aチーム〉久保 瑛晶/高橋 朱宇斗/熊谷 天智/佐藤 愛斗/阿部 颯/葛西 純昌/市川 壮一/五月女 響/木村 祐翔/鍛冶 優将/種市 悠人/茶木 優汰/山村 旭飛/上山 響平/堤 虎太郎/佐野 和希/西脇 颯/小川 唯斗/荒木 零士 〈第13回風越カップアイスホッケー大会 帯広選抜チーム〉三品 俊輔/木村 柚稀/佐藤 礼那/高橋 日向多/下山 晃世/真砂 巨/西本 翔/田村 隼人/牛尾 大雪/小岩 獅竜/村上 桂太/脇坂 琉生/新居 勇人/大友 隆太/口田 愁/香田 龍牙/関 椋太 〈第39回全中アイスホッケー大会 東胆振合同Aチーム〉米津 碧海/久田 晴貴/森 星輝/庄司 凌/伊藤 稜馬/澁谷 悠希/岩野 翔吾/千崎 龍星/早坂 仁/石田 聖弥/岩村 晴翔/小屋畑 陽翔/早坂 亮哉/諸永 伶桜/城野 友咲/沓澤 頌真 〈第73回国体弓道少年女子チーム〉大崎 胡桃/芝木 千冬/島田 里菜希 〈第73回国体弓道少年男子チーム〉兼田 響/渡邊 圭/佐々木 駿 〈第74回国体アイスホッケー少年男子チーム〉大野 智央/佐藤 永基/務台 慎太郎/米山 幸希/石田 陸/鍛冶 優輝/武部 太輝/阿部 泰河/木綿 宏太/荒木 翔伍/安藤 永吉/中島 照人/前田 拓杜/宮田 大輔/中條 廉/権平 優斗 〈第74回国体アイスホッケー成年男子チーム〉大澤 啓太/我孫子 巨/川島 誠/鬼頭 俊行/横山 恭也/松浦 大貴/葦島 圭悟/金子 立樹/辻 寛太/田中 孝太/小原 卓郎/村上 亮/山野下 元氣/今野 友尋/山下 拓郎/池田 涼希 〈中札内村立中札内中学校スケート部〉北嶋 咲羽/佐藤 之亜/真野 美咲/松田 美咲 〈北海道ボウリング連盟シニア男子2人チーム〉君嶋 友喜夫/上原 雅樹 〈立命館慶祥高等学校 女子4x100mリレーチーム〉吉田 梨緒/臼井 文音/石堂 陽奈/松田 奈夏

3 スポーツ少年団活動において、功績の顕著な者、又は団体

中標津サッカースポーツ少年団/計根別ビクトリーズスポーツ少年団
 計根別ユニオンズスポーツ少年団

4 南部忠平記念賞

高木 美帆

コンサドーレバドミントンスクール 北海きたえーる校



三校キャプテンから打ち方の指導を受ける参加者

8月から始まった「コンサドーレバドミントンスクール 北海きたえーる校」コンサドーレバドミントンチームの監督や現役選手から指導を受けられることもあり、募集開始とともに定員になるほど大人気のスクールです。

プレーをする楽しさはもちろん、考える楽しさや、チャレンジする楽しさ、達成する楽しさ、バドミントンの色々な楽しさを味わえます。

道産子選手のメダル獲得もあり、更に人気が高まること間違いなしのスクールです。



吉田監督からの直接指導



弓道教室

札幌弓道連盟の協力のもと、初心者から再度挑戦される方まで参加いただき、日本の伝統競技である弓道の基礎となる礼儀や姿勢から学ぶ教室です。全10回で年3期にわたり行っており、参加者が回を追うごとに増えております。

先生方の分かりやすい指導のもと全10回を終わる頃には的に当たる生徒さんもいて弓道の楽しさを感じていただいております。

教室終了後も個人開放にも通うなど、本格的に弓道を始め、初段審査に見事合格された方もいらっしゃいます。

これからも弓道を通してスポーツの普及に繋げていきたいと思っています。



ベビーマッサージ&ヨガ

0歳～1歳未満を対象とした「ベビーマッサージ&ヨガ」は、一般社団法人北海道助産師会の会長であり、ベビーマッサージ、ヨガのインストラクターとしても経験豊富な高室典子先生が講師を務める教室です。

平成24年から始まった教室は現在では、きたえーるの看板事業のひとつとなっています。

1期5回のコース内で、内容は少しずつステップアップします。ベビーマッサージを使用して赤ちゃんのマッサージやボディケア、動作トレーニングなど自宅でも簡単に出来るマッサージ、ヨガが体験できます。

お母さんのストレッチ、ヨガも取り入れている教室となっていますので、産後の体のケアもできるプログラムとなっています。



赤ちゃんのリラクゼーションタイム



産後のボディケア

第49回 北海道スポーツ少年大会

この事業は、道内のスポーツ少年団活動をより充実させるため、スポーツ少年団活動の中核リーダーを一堂に集め、スポーツ少年団活動と集団生活を通して心身の鍛錬及びリーダーとしての資質の向上を図ることを目的に開催されている事業です。

今年は、美瑛町で8月2日から2泊3日の行程で、小学4年生から高校1年生までのスポーツ少年団員48名、指導者9名、運営リーダー・スタッフ13名の総勢70名で開催されました。初日のプログラムでは、日本体育大学特別研究員の乳井勇二先生をお招きし「オリンピック・パラリンピックから学ぶこと」という内容で講演をして頂きました。2日目に行われた登山プログラムでは参加者全員で、北海道山岳連盟のガイドのもと「十勝岳」の避難小屋を目指し、全員登頂することが出来ました。

参加した団員たちは、国や地域や競技の異なる団員との集団生活を通して得た貴重な経験をそれぞれのスポーツ少年団で活かし、将来のリーダーとして活躍するでしょう。



十勝岳の避難小屋まで登山



参加者全員でキャンプファイヤー



班別対抗キンボール



薪割りからカレー作り

第75回 国民体育大会冬季大会

■スケート競技会・アイスホッケー競技会

期日：令和2年1月29日(水)～2月2日(日)
会場：青森県(八戸市、三沢市、南部町)



■スキー競技会

期日：令和2年2月16日(日)～2月19日(水)
会場：富山県(富山市、南砺市)



寄附金の募集案内

北海道スポーツ協会は、スポーツ推進に関する事業を行い、スポーツを振興して、道民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に活動しております。この目的を達成するために多くの皆様方からのご寄附をお願いいたします。また、本会は平成29年4月6日より「税額控除」の対象団体となることができました。本会の活動へご賛同いただき、ご寄附を賜りました皆様へ厚くお礼申し上げます。

寄附金の金額 ●一般寄附金：3,000円以上 ●特別寄附金：100,000円以上

寄附金の申込 北海道スポーツ協会ホームページより、「寄附金申込書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、FAX、メール、郵便等でお送りください。

寄附金の送金 銀行振込、現金封筒で郵送、現金持参でお願いいたします。

- 銀行名：北海道銀行豊平支店 ●口座番号：普通預金 0307402
- 口座名義：公益財団法人北海道スポーツ協会 会長 堀 達也

※北海道銀行本支店から、国会指定の専用振込用紙(ダウンロード)にて納付の場合は振込手数料がかりません。

寄附金の控除

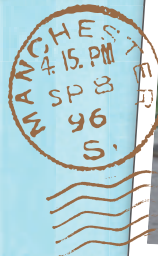
- 個人寄附の方は、「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができるようになりました。 ※税額控除による控除額については、所得・居住地等により異なりますので、ご不明な点はお近くの税務署へお問い合わせください。
- 法人寄附の方は、「一般損金算入限度額」と別枠で「特別損金算入限度額」まで損金算入が認められます。

2019年北海道・カナダアルバータ州 親善スポーツ交流事業

本事業は1973年より両国の将来を担うジュニア選手の育成・競技力向上とスポーツを通じて相互の交流を深めることを目的として実施しており、46回目を迎える本交流事業は、8月22日から8月30日までの日程で、本道から17名ソフトボール競技の(高校生女子・役員)選手団をカナダアルバータ州へ派遣しました。

期間中には、エドモントン、カルガリーにて計4試合の交流戦を行い、全て勝利を収めることができ、本道選手達は多くの経験を得ることが出来ました。

また、カルガリー冬季五輪施設やバンフ国立公園を視察し、アルバータ選手の家庭訪問を行うなど、両地域の関係者による多様な交歓交流を通じて相互のスポーツ事情への理解を深め合い、大変意義深い交流となりました。



アルバータ州議事堂前で
記念撮影



試合の
様子



歓迎夕食会の様子



第46回 日独スポーツ少年団同時交流事業

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースが青少年及び指導者の国際感覚を養うとともに、両国の青少年スポーツの発展を目的として実施され、本年度46回目を迎えた今年は、全道から推薦された指導者・団員7名をドイツ(ベルリン・ブランデンブルク州)へ派遣し、ドイツスポーツユースで活動する指導者・団員7名を約2週間にわたり受け入れました。

今回の受入は7月25日～27日を札幌市内のプログラムの後、十勝管内、釧路管内へと移動し、地元スポーツ少年団の団員や地元の高年生との交流やディスカッション、茶道・書道体験など日本の文化体験のプログラムなどを行いました。

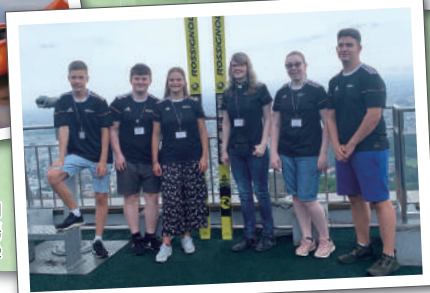


剣道体験(釧路)

書道体験(十勝)



カヌー体験(釧路)



大倉山
ジャンプ競技場
見学

加盟競技団体

活動紹介

ボウリング

1964年(昭和39年)1月25日全日本ボウリング協会は加盟団体17をもって結成されましたが、北海道はこの時に加盟しています。1987年(昭和62年)9月20日から開催された沖縄海邦国体の公開競技で初参加しました。1989年(平成元年)の北海道はまなす国体で総合優勝、そして1994年(平成6年)愛知わかしゃち国体、翌年のふくしま国体及び翌々年のひろしま国体で3連覇達成し、その後2012年(平成24年)ぎふ清流国体で5度目の総合優勝を果たしました。



第43回全日本中学選手権大会表彰式

毎年全国大会等の予選を兼ねた北海道選手権、選抜選手権、シングルス選手権、クラブ対抗選手権、シニア選手権及びシニアチーム選手権大会等を開催しています。

因みに、今年の文部科学大臣杯全日本中学選手権大会で、帯広第五中学校3年の紺谷涼太選手が男子の部で優勝しましたが、これからも少年の部の育成強化に努め、若い選手の力発揮に期待しています。

アイスホッケー

当連盟は、アジア初の1972年札幌冬季五輪が開催された翌年1973年に、北海道スケート連盟から分離し設立されました。上部団体である公益財団法人日本アイスホッケー連盟に加盟し、傘下には道内11団体を抱え、アイスホッケーの普及振興を図っております。

全国どこよりもアイスホッケー施設が充実している北海道では、幼少期から氷に慣れ親しみ、小学生から成年及び女子のチームは常に全国上位をキープしており、さらには日本代表選手として国際大会やオリンピックに数多くの選手を輩出しており、北海道が日本のアイスホッケーを支えてきました。



全道小学生アイスホッケー選手権大会



高校生大会



2030年には札幌市を中心に『冬季五輪大会を再び札幌の地で開催』に向けて鋭意準備を進めているところです。当連盟といったしましてもこの誘致活動に積極的に参画し、冬季スポーツのメッカとして北海道のアイスホッケーを更に普及・強化及び競技人口の底辺拡大に向け全力で努めてまいります。

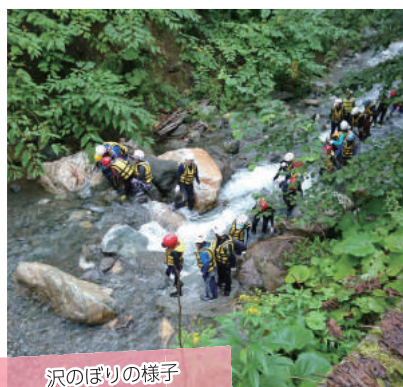
北海道スポーツ少年団

活動紹介

北広島市スポーツ少年団

北広島市スポーツ少年団は27団体、約600名の団員で構成されています。日々の活動を通じて心身を育み、少年団相互も親睦を深め合えるように年に数回、交流のための事業を実施しています。

その一環として2019年8月11日(日)から14日(水)までの3泊4



沢のぼりの様子

日で、少年団の5年生を対象としたリーダー養成講習会「チャレンジジュニアスクール」を、教育委員会と共催で国立日高青少年自然の家を会場とし実施しましたので紹介します。11団体から37名が集まり、参加者は沢のぼりやウォークラリー、火おこし体験などのプログラムを共に乗り越えながら、初めて出



参加メンバーで記念撮影

会った仲間たちと少しずつ心を通わせ、班行動やリーダー研修を通じてチームワークの大切さやリーダーとしての在り方について見つめなおしました。

4日間の短い研修ではありましたが、それぞれが学び感じとったことをしっかりと胸に刻み、新たなリーダーの一員として活躍してくれることを期待しています。

稚内柔道スポーツ少年団

稚内柔道スポーツ少年団は、市内の幼稚園児から中学3年生までの37名で活動しています。

当団の指導方針「継続は力なり」に基づき、それぞれの子の心身の成長度合いに合わせて、柔道を中心とした様々な運動メニューを提供し、皆で楽しみながら長く継続していける「居場所づくり」に取り組んでいます。

具体的な活動としては、毎週2回の柔道の練習の他に、全身を使って楽しく身体を動かしながら、運動能力の向上を図ることを目的として、外部講師招聘によるダンスや各種トレーニングを月2回取り入れたり、柔道本来の練習だけでは特定な部分の動きだけで、多様な動きを身につけることが出来ないことから、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして(公財)日本スポーツ協会が開発した「アクティブ・チャイルド・プログラム」を毎週1回の活



動で実施し、全身を使って楽しく遊ぶことを通じて、一人ひとりの「できない」、「上手にできない」運動、動きを「できる」、「上手にできる」ようにしていくことを目標に取り組んでいます。

また、「子を通して親も学ぶ」をテーマに、親子で一緒にダンスやトレーニングに参加したり、親子で柔道を共有する場として親子柔道教室を開催しています。

これからも、多様な目的、志向、嗜好を持つ子供の気持ちや保護者の思いを尊重しながら、それぞれ違った個性や特性を持つ子供一人ひとりが主役として輝き、保護者も一緒になって楽しむことができるような取り組みを推進していきます。



北海道スポーツ協会は「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」を設置しています。



スポーツにおける「暴力行為」・「ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)」・「ドーピング違反」・「不適切な経理」などに関する相談

相談者

団体等への調査・事情聴取などを行い、結果を報告



北海道スポーツ協会
相談窓口

相談窓口 書面による郵送・電話・FAX・E-mailのいずれかの方法でご相談ください。

公益財団法人 北海道スポーツ協会 総務・会計課

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

TEL:011-820-1701 FAX:011-833-0705

E-mail: info@hokkaido-sports.or.jp

※担当者が不在の場合は、後日こちらからご連絡をさせていただきます。

総合型地域スポーツクラブ

活動紹介

初山別総合型クラブ「楽すぽクラブ」

平成21年3月に設立した初山別総合型クラブ「楽すぽクラブ」。クラブ理念のポイントは4点。「競技スポーツにこだわらない、交流できる場の提供、自らの健康と生きがいづくり、潤いと活力ある地域づくり」として、村のスポーツ施設等を拠点に様々なスポーツの体験と交流の機会を構築し自主財源で活動しています。

今年の「楽すぽクラブ」では、健康をメインに「貯筋運動教室」を定期開催。いつ浸透するか解りませんが、ミニイベントでの笑顔で活力をもらいながら、多種多様な事業展開を推進し自ら参画し運営していくスタイルで、今後、「楽すぽクラブ」が地域の身近な生涯スポーツ基盤となるよう努力していきたいと思っています。

メニュー豊富な貯筋運動。隣のコートでは、子どもたちがショートテニス・卓球とそれぞれが、自由に参加して活動しています。



珍プレーに笑いも絶えず、毎年盛り上がるビレッジカップ4面ミニバレー大会



ミニイベントで自主財源を確保



ユるっとゆうばりスポーツクラブ

当クラブは、今年の4月から総合型地域スポーツクラブとして本格的に活動を開始したばかりの、生まれたてのクラブです。2年間の準備期間の間、試行錯誤を繰り返し、新たなコミュニティを作り出そうと努力を重ねてきました。現在はボクシング、ピンポン&バドミントン、高齢者向け運動教室、ランニング&ノルディックウォーキングを定期的で開催しています。また、ノルディックウォーキングとからめてダム見学や化石発掘といった、夕張ならではの自然や施設を巡るイベントも企画します。さらに、ハンドクラフト等の文化事業にも力を入れたいと考えています。

まだまだ小さなクラブですが、会員同士のつながりの深さに助けられながら、地域に新たなネットワークを構築できるように活動を続けています。



みかさスポーツクラブ ぽっけ

平成31年2月三笠に初めての総合型スポーツクラブとして設立しました。

「ぽっけ」とは、アイヌ語で「あたたかい」という意味があります。子どもから高齢者まで、障がいのある・なしに関わらず多くの人が楽しく集える、そんなクラブを目指し活動をしています。

三笠市は移住・定住対策に力を入れており、子育て世代を中心に移住者が増えています。そのためクラブでも沢山の親子が集い楽しくスポーツに取り組む場となればと考え、子ども運動教室を開催しています。

市民の皆さんが運動や文化活動に取り組める場所を設け、いずれ地域に必要な不可欠とされる「ぽっけ」になれるよう活動していきたいと考えています。

クライミング体験



スラックライン体験



小中体力アップ事業



こどもの日無料開放

令和最初の北海きたえーのイベント、5月5日（日・祝）『こどもの日無料開放』では、延べ730名の方々にご来場いただきました。

エスポラーダ北海道フットサルスクール体験会、北海道日本ハムファイターズキャッチボール体験会や、レバンガ北海道バスケットボールアカデミー体験会、きた☆キッズチアダンススクール体験会では現役選手や元プロ選手、スクールコーチから実践的な指導を受けられることもあり、長蛇の列が出来ていました。

ミニバレー体験会やビームライフル体験会等では家族と一緒に体験している姿が多く見られ、大型連休中や晴天ということもありゆったりとしたこどもの日無料開放となりましたが、子供たちの笑顔溢れる1日となりました。



北海道日本ハムファイターズキャッチボール体験会
村田コーチによる投球お手本



レバンガ北海道バスケットボールアカデミー体験会
安宅コーチからシュートフォームを教わる参加者



スナッグゴルフ体験会
お父さんと一緒に体験する参加者



卓球開放
親子で勝負!

好評発売中 スポーツ応援米 ゆめぴりかブレンド



北海道米の最高峰「ゆめぴりか※」とふっくら食感が自慢の「ふっくらりんこ」をブレンド。冷めてもおいしいので、お弁当やおにぎりにもおすすめです。

※「北海道米の新たなブランド形成協議会」で定めた、厳しい品質基準に若干満たない「ゆめぴりか」を主に使用しています。

10kg・5kg・無洗米5kgがごじます。

ゆめぴりか 5割
ふっくらりんこ 5割

こどもの元気を応援！スポーツ応援米

この商品の売上の一部(1kg×1円)を(公財)北海道スポーツ協会に寄付し、北海道のこどもたちの心と体を育てるスポーツ振興に役立てています。

発売当初からの累計寄付額

10,063,333円 どんどん食べて応援をお願いします！
※平成31年3月末迄

1kg = ① 1kg=1円を北海道のスポーツキッズの為に役立てています

全道のホクレンパルライス商品の取り扱い店舗で好評発売中！

発行

公益財団法人 **北海道スポーツ協会**
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
北海道立総合体育センター内
TEL(011)820-1701(代表) FAX(011)833-0705

道スポ協及び関連ホームページアドレス

- 公益財団法人 北海道スポーツ協会 <http://www.hokkaido-sports.or.jp/>
- 北海道立総合体育センター 北海きたえーる <http://www.kitayell.jp/>
- 公益財団法人 日本スポーツ協会 <http://www.japan-sports.or.jp/>
- 公益財団法人 スポーツ安全協会 <http://www.sportsanzen.org/>
- 公益財団法人 北海道スポーツ協会メールアドレス... info@hokkaido-sports.or.jp

1000万人の保険！ 小さな掛金・大きな補償！ スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

《上記保険の一括契約補償制度》

**4名以上の
団体でご加入
ください。**

対象となる事故

● 団体での活動中 ● 団体活動への往復中

保険期間

● 毎年4月1日午前0時から、翌年の3月31日午後12時まで
● 加入手続き日が4月1日以降の場合は、加入手続き日翌日午前0時より有効。終期は翌年3月31日午後12時まで

掛金

● 掛金(1人年額800円~11,000円)は、団体の活動内容・年齢構成等の加入区分によって異なります。

補償内容

● 入院・通院は1日目から補償されます。
● 補償保険金額は、加入区分によって異なります。

《資料の請求・内容照会は下記までお願いします。なお、日・月・祝祭日は休みです。》

公益財団法人スポーツ安全協会 北海道支部

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 北海道立総合体育センター内

TEL & FAX 011-820-1709

HPアドレス <http://www.hokkaido-sports.or.jp/> 【(公財)北海道スポーツ協会HP内】



mizuno.jp 0120-320-799



建物の「ライフサイクルコストの最適化」という観点から、
資産価値と収益性の向上を実現します。

まずは検索を

快適をもっと、最適をずっと。
日本管財株式会社
<https://www.nkanzai.co.jp>

<お問い合わせ先>

北海道支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西5丁目1番地 TEL: 011-205-5641

● 本社所在地: 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-10 柳屋ビルディング

● 本店所在地: 〒662-8588 兵庫県西宮市六湛寺町9-16

○ 建物管理運営事業(ビル管理業務、保安警備) ○ 住宅管理運営事業 ○ 環境施設管理事業
○ 不動産ファンドマネジメント事業 ○ その他の事業



お困り事がございましたらぜひご相談ください

表彰・記念品専門店 少ロットでもまずはお相談ください

株式会社 **オリジナルHOTTA**

〒060-0031 札幌市中央区北1条東9丁目11-46

TEL(011)211-4147 FAX(011)211-4148

<http://www.o-hotta.com>